

# 公益財団法人 リバーフロント研究所

## I 法人の概要 (令和2年4月1日現在)

- 所在地 東京都中央区新川一丁目17番24号
- 設立年月日 昭和62年9月1日
- 代表者 代表理事 塚原 浩一 (令和2年5月29日就任)
- 基本財産 542,300千円
- 北九州市の出捐金 10,000千円 (出捐の割合 1.8%)
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	0人	6人
常 勤	1人	0人	0人	1人
非常勤	5人	0人	0人	5人
職 員	29人	0人	0人	29人

## II 令和元年度事業実績

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、未解明である、学際的である、又は先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、研究等の成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定の技術的基盤とすることを目指して活動する。

令和元年度は、今日の課題の解決に貢献することを念頭において、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、流域が一体となつてとりくむ水害に対して強靱で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などに関する未解決の諸課題にチャレンジしつつ、以下の研究等を重点的に行った。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指すこととし、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を、インターネットを通じて公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行った。

また、多自然サポートセンター、ARRN/JRRN の活動等により、多自然川づくりや海岸環境等に係る研究成果、技術情報等の情報共有、発信に努めた。

### 1. 環境・生態系の基本的課題に関する研究等

河川、海岸等の水辺に係わる環境・生態系の基本的課題に関する研究等を行った。

## 2. 持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成に向けた研究等

気候変動等の地球規模の課題や、大規模災害等の地域ごとの課題に対処し、持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成を目指した研究等を行った。

## 3. 意識共有、合意形成の円滑化に向けた研究等

河川、海岸等の水辺に係る現状や諸課題に関し、関係者が認識を共有し円滑な合意形成を図るための手法に関する研究等を行った。

## 4. 研究成果、技術の普及

### 4.1 多様な手法による情報提供

研究所のホームページを活用して、「リバーフロント研究所報告」を公表した。

### 4.2 多自然川づくりサポートセンターにおける諸活動

全国で展開される多自然川づくりを技術面から支援するために設置した多自然川づくりサポートセンターにおいて、延べ6件の相談等に対し、助言等を行うとともに、研修会等への講師派遣を行った。

### 4.3 刊行物の出版等

機関誌「RIVER FRONT」を発行した。

## 5. 国際貢献の推進

### 5.1 研究成果等を活用した諸外国への展開、技術普及等

### 5.2 アジア及び日本河川・流域再生ネットワーク（ARRN/JRRN）の活動

### 5.3 諸外国との技術交流

### Ⅲ 令和元年度決算

#### 1 貸借対照表（総括表）

令和2年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	2,644,863	2,971,972	▲ 327,109
完成業務未収入金	326,470,100	307,170,526	19,299,574
貯蔵品	125,278	150,432	▲ 25,154
未収金	2,475,000	4,616,014	▲ 2,141,014
前払費用	9,328,041	10,875,510	▲ 1,547,469
流動資産合計	341,043,282	325,784,454	15,258,828
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	242,300,000	57,700,000
定期貯金	242,300,000	300,000,000	▲ 57,700,000
基本財産合計	542,300,000	542,300,000	0
(2) 特定資産			
研究開発積立資産	957,700,000	957,700,000	0
退職給付引当資産	48,792,525	49,035,100	▲ 242,575
特定資産合計	1,006,492,525	1,006,735,100	▲ 242,575
(3) その他固定資産			
建物	3,405,452	4,356,082	▲ 950,630
什器備品	3,055,505	471,661	2,583,844
リース資産	3,640,140	4,680,180	▲ 1,040,040
電話加入権	145,600	145,600	0
敷金	45,514,794	45,514,794	0
その他固定資産合計	55,761,491	55,168,317	593,174
固定資産合計	1,604,554,016	1,604,203,417	350,599
資産合計	1,945,597,298	1,929,987,871	15,609,427
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
業務未払金	50,479,000	61,257,600	▲ 10,778,600
短期借入金	225,824,648	184,880,085	40,944,563
短期リース負債	1,030,856	1,013,325	17,531
未払り金	2,657,305	5,011,204	▲ 2,353,899
賞与引当金	1,953,887	3,367,623	▲ 1,413,736
未払消費税等	10,055,000	11,264,000	▲ 1,209,000
流動負債合計	11,017,400	3,283,900	7,733,500
流動負債合計	303,018,096	270,077,737	32,940,359
2 固定負債			
長期リース債務	2,655,834	3,686,690	▲ 1,030,856
退職給付引当金	48,792,525	49,035,100	▲ 242,575
固定負債合計	51,448,359	52,721,790	▲ 1,273,431
負債合計	354,466,455	322,799,527	31,666,928
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,591,130,843	1,607,188,344	▲ 16,057,501
（うち基本財産への充当額）	(542,300,000)	(542,300,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(957,700,000)	(957,700,000)	(0)
正味財産合計	1,591,130,843	1,607,188,344	▲ 16,057,501
負債及び正味財産合計	1,945,597,298	1,929,987,871	15,609,427

## 2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,046,235	13,015,835	▲ 7,969,600
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	10,422,902	15,572,497	▲ 5,149,595
③ 事業収益			
調査研究事業収益	496,157,720	429,372,982	66,784,738
④ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	11,264,000	11,574,000	▲ 310,000
⑤ 雑収益			
雑収益	687,542	1,855,738	▲ 1,168,196
経常収益計	523,578,399	471,391,052	52,187,347
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	442,554,780	367,368,618	75,186,162
研究開発・技術普及費	44,390,084	81,036,438	▲ 36,646,354
② 管理費			
管理費	52,691,036	50,361,594	2,329,442
経常費用計	539,635,900	498,766,650	40,869,250
当期経常増減額	▲ 16,057,501	▲ 27,375,598	11,318,097
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	▲ 1
経常外費用計	0	1	▲ 1
当期経常外増減額	0	▲ 1	1
当期一般正味財産増減額	▲ 16,057,501	▲ 27,375,599	11,318,098
一般正味財産期首残高	1,607,188,344	1,634,563,943	▲ 27,375,599
一般正味財産期末残高	1,591,130,843	1,607,188,344	▲ 16,057,501
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>1,591,130,843</b>	<b>1,607,188,344</b>	<b>▲ 16,057,501</b>

#### IV 令和2年度事業計画

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、未解明である、学際的である、又は先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という。）に取り組み、研究等の成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定の技術的基盤とすることを目指して活動する。

令和2年度は、今日の課題の解決に貢献することを念頭において、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、流域が一体となって取り組む水害に対して強靱で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などの諸課題に取り組むこととする。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指すこととし、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を、インターネットを通じて公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行う。

#### V 令和2年度予算

##### 1 収支予算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,000	12,900	▲ 7,900
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	10,400	15,630	▲ 5,230
③ 事業収益			
調査研究事業収益	548,000	480,000	68,000
④ 補助金等			
賞与引当金戻入額	11,117	12,359	▲ 1,242
⑤ 雑収益			
雑収益	500	200	300
経常収益計	575,017	521,089	53,928
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	482,102	393,084	89,017
研究開発・技術普及費	36,466	72,727	▲ 36,260
② 管理費			
管理費	56,448	55,277	1,171
経常費用計	575,017	521,089	53,928
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0

## VI 役員名簿

令和2年5月29日現在

役職名	氏名	備考
代表理事	塚原浩一	常勤
理事	菅和利	非常勤
〃	見城美枝子	〃
〃	田代民治	〃
監事	小野賢二	〃
〃	増岡洋一	〃